

事業コード	04030302	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略
事業名	新時代の地域密着型芸術文化活動促進事業	施策コード	03	施策名	文化の発信力強化と文化による地域の元気創出
部局名	観光文化スポー	指標コード	03	施策目標(指標)名	本県文化の中核拠点となる文化施設の整備
	課室名	文化振興課	班名	調整・文化振興班	(tel) 8601530
				担当課長名	石黒 道人
				担当者名	熊谷 僚子

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成30年度 ~ 平成33年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 県民会館が閉館する平成30年5月末から新文化施設が開館する平成33年度までの間、文化団体の発表の場が少なくなり文化活動が縮減し、県民が質の高い芸術文化に触れる機会が減少することが懸念される。また、芸術文化団体がこれまで県民会館で開催してきた芸術文化活動を秋田市以外の文化施設を利用する場合、経費が掛かり増しとなる。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)  
 県民会館閉館期間中も県内各地で芸術文化活動が活発に行われるようにするとともに、県民の文化に触れる機会を数多く確保する。  
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: H29 年 06 月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に )  
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 県、市町村、秋田県芸術文化協会  
 事業の対象者・団体 県民、芸術文化団体、児童生徒  
 達成のための手段  
 文化団体を対象に秋田市以外の文化施設で事業を開催する場合に助成するとともに、児童生徒を対象に、プロの音楽家の出前講座を実施する。また、県民を対象に、県立体育館を会場に大規模なイベントやコンサートを開催する。

県民会館閉館中も県内各地で芸術文化活動が活発に行われるよう、県が主体となって、音楽公演実施や他の文化施設利用支援について、芸文協及び県内各文化団体から要望があった。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 県民会館が閉館することにより、県民が芸術文化に触れる機会が減じないよう、県が全体的に事業実施するのが妥当である。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	芸術文化プログラム開催事業	県民会館閉館中も、より多くの県民が芸術文化に触れられる機会を提供するため、県立体育館を会場に大規模なイベントやコンサートを開催する。	10,000	10,000	10,000	10,000			40,000
02	県民会館閉館中助成事業	県内文化団体がこれまで県民会館を会場に開催してきた事業について、5月末の閉館に伴い、秋田市以外の文化施設等で開催する場合、掛かり増し経費の一部を助成する。	3,000	3,000	3,000	3,000			12,000
03	音楽活性化事業	県民が身近な場所で一流の音楽を鑑賞する機会を拡充するため、希望する市町村と連携しアウトリーチ(出張コンサート)等を開催する。	2,157	5,090					7,247
04	ありがとう県民会館ラストコンサート開催事業	県民会館閉館前の最終日曜日に、県民会館への感謝を込めて本県文化の若い担い手や秋田県にゆかりのあるアーティストが出演するラストコンサートを開催する。	4,000						4,000
	財源内訳	左の説明	19,157	18,090	13,000	13,000			63,247
	国庫補助金								
	県債								
	その他	(繰入金)秋田県芸術文化振興基金、(諸収入)(一財)地域創造	8,000	8,500	3,000	3,000			22,500
	一般財源		11,157	9,590	10,000	10,000			40,747

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 より多くの県民のが芸術文化に触られる機会が拡充される。

指標	指標名	芸術文化プログラム参加者数							指標の種類
	指標式	芸術文化プログラムの出演者数と来場者数の計							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a			1,200	1,300	1,400	1,500		
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	県文化振興課調べ							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名	音楽活性化事業参加者数							指標の種類
	指標式	アウトリーチフォーラム及び連携プログラム事業に参加した市町村担当者、教育関係者、児童生徒等の計							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a			230	2,700				
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	県文化振興課調べ							

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
県民会館閉館中、県民が質の高い音楽に触れる機会が減少しないよう、文化団体等の発表の場や県民に鑑賞機会を提供することは必要である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
文化団体をはじめ、多くの県民から、発表の場の提供や鑑賞機会の拡充を求められている。

**事業の県関与の必要性**  
法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの  
市町村単独では実施できないが、県が主体となり市町村が連携することによって経費節減を図り、質の高い芸術文化公演を実施する。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 その他